



## 平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年7月3日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 名  
 コード番号 2686 URL http://www.g-foot.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井博史  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 村瀬 透 TEL 052-732-7789  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年5月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	26,244	—	1,334	—	1,328	—	716	—
25年2月期第1四半期	21,714	10.8	484	—	469	—	173	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	68.83	—
25年2月期第1四半期	16.62	—

(注) 当社は、平成25年2月期より決算期を毎年1月20日から毎年2月末日に変更しております。これに伴い、26年2月期第1四半期（3月1日から5月31日まで）と比較対象となる25年2月期第1四半期（1月21日から4月20日まで）の期間が異なるため、26年2月期第1四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	50,430	17,287	34.3	1,659.88
25年2月期	45,273	16,497	36.4	1,583.90

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 17,287百万円 25年2月期 16,497百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	6.00	—	14.00	20.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	—	5,500	—	5,450	—	2,200	—	211.22

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成25年2月期は、1月20日決算から2月末日決算へ決算期の変更をしたことに伴い13ヶ月8日の変則決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。  
 3. 平成25年2月期において決算期の変更をしており、平成26年2月期第2四半期（累計）の前年同期間との比較が困難であるため通期のみの業績予想を開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	10,417,350株	25年2月期	10,417,350株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	2,201株	25年2月期	1,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	10,415,537株	25年2月期1Q	10,415,665株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については「添付資料」P. 3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間（平成25年3月1日～平成25年5月31日）におけるわが国の経済は、金融緩和と政策発表の影響により、円高是正と株価の上昇を通して、景気回復への期待感が高まりをみせたものの、デフレ基調の改善や実体経済の回復については、依然として不透明な状況でありました。

当業界におきましても、可処分所得の減少に対する不安から消費者は生活防衛意識を高めており、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況下にありました。

このような中、当社は、お客さまの多様な価値観に込められる商品の提案とSPA化を推進するための仕組み作りを行いました。また、当第1四半期累計期間の出退店につきましては、出店24店舗、退店4店舗を実施し、四半期末店舗数は693店舗となりました。3業態（アスビー・フェミニンカフェ・グリーンボックス）へのストアブランドの整理・統合を推進するとともに、販売促進を強化することでお客さまへのストアブランドの浸透を図りました。

売上高につきましては、既存店売上高が好調に推移したことにより、262億44百万円となりました。特に、グリーンボックスはイオングループの直営靴売場を業務受託するビジネスモデルであり、靴専門店のノウハウをGMSS売場に活用することにより、売場の活性化及び収益力のアップを図りました。

利益につきましては、仕入規模の拡大による商品調達コストの削減により、売上総利益率が44.0%となり、営業利益13億34百万円、経常利益13億28百万円、四半期純利益7億16百万円となりました。

当社はセグメント情報を記載しておりませんが、事業部門別の業績は次のとおりであります。

(靴等の販売部門)

靴等による商品売上高は、PB商品であるアスビー、Lee、マッドフット、フェミニンカフェ及びトップパリュの販売促進を積極的に行ったことにより、262億40百万円となりました。

商品別売上状況

商品別	当第1四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)
紳士靴	4,285	16.3
婦人靴	8,142	31.0
スポーツ靴	7,412	28.3
運動靴・子供靴	4,836	18.4
インポート雑貨	387	1.5
その他	1,176	4.5
合計	26,240	100.0

(その他の部門)

その他の部門の売上高は不動産賃貸収入であり、3百万円となりました。

なお、当社は前事業年度において、1月20日としておりました決算日を2月末日に変更いたしました。これに伴い、前第1四半期累計期間と当第1四半期累計期間とは対象期間が異なることとなりますので、前第1四半期累計期間との比較は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は504億30百万円となり、前事業年度末と比較して51億56百万円の増加となりました。これは主に店舗数の増加と季節要因により商品及び売上預け金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は331億42百万円となり、前事業年度末と比較して43億66百万円の増加となりました。これは主に短期借入金、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は172億87百万円となり、前事業年度末と比較して7億90百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期の業績予想につきましては、現地点では平成25年4月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,886	2,592
売掛金	241	409
売上預け金	1,928	3,370
商品	23,808	26,087
その他	1,314	1,727
流動資産合計	30,179	34,187
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,492	3,823
土地	1,272	1,272
その他(純額)	1,176	1,124
有形固定資産合計	5,941	6,220
無形固定資産		
投資その他の資産	390	535
敷金及び保証金	6,327	6,427
その他	2,437	3,063
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,761	9,486
固定資産合計	15,093	16,242
資産合計	45,273	50,430
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,446	22,310
短期借入金	—	2,100
1年内返済予定の長期借入金	1,399	1,364
未払法人税等	1,258	694
店舗閉鎖損失引当金	0	—
ポイント引当金	218	233
賞与引当金	209	447
役員業績報酬引当金	27	3
その他	2,366	3,458
流動負債合計	25,926	30,613
固定負債		
長期借入金	2,119	1,760
退職給付引当金	36	34
役員退職慰労引当金	34	36
執行役員退職慰労引当金	7	8
資産除去債務	621	658

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
その他	29	29
固定負債合計	2,849	2,528
負債合計	28,775	33,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,326	3,326
資本剰余金	3,157	3,157
利益剰余金	9,254	9,825
自己株式	△1	△2
株主資本合計	15,736	16,307
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	760	980
評価・換算差額等合計	760	980
純資産合計	16,497	17,287
負債純資産合計	45,273	50,430

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	21,714	26,244
売上原価	12,516	14,699
売上総利益	9,197	11,545
販売費及び一般管理費	8,713	10,211
営業利益	484	1,334
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	8
保険解約返戻金	3	—
その他	1	2
営業外収益合計	9	10
営業外費用		
支払利息	19	15
その他	4	0
営業外費用合計	23	15
経常利益	469	1,328
特別利益		
固定資産売却益	2	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	4	10
減損損失	40	15
投資有価証券評価損	25	—
解約違約金	—	9
特別損失合計	71	35
税引前四半期純利益	405	1,293
法人税等	232	576
四半期純利益	173	716

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。